



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月28日

上場会社名 ヒューリック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3003 URL http://www.hulic.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西浦 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理部長 (氏名) 中根 繁男 TEL 03 (5623) 8100
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 平成26年9月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	123,175	251.7	18,515	34.1	17,265	37.0	11,997	43.9
25年12月期第2四半期	35,016	—	13,802	—	12,600	—	8,336	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 16,415百万円 (△0.8%) 25年12月期第2四半期 16,554百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	20.25	20.22
25年12月期第2四半期	14.11	14.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	693,445	191,466	27.4	320.86
25年12月期	720,344	177,280	24.4	297.24

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 190,146百万円 25年12月期 176,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	2.50	—	4.00	6.50
26年12月期	—	3.50	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	4.00	7.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	84.4	34,000	16.7	30,000	15.4	18,000	12.7	30.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	596,213,271株	25年12月期	595,731,471株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	3,612,462株	25年12月期	3,611,513株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	592,388,852株	25年12月期2Q	590,796,966株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、企業向けオフィスビルの賃貸を主とした安定した不動産賃貸収入に加え、平成26年2月7日付で東京証券取引所不動産投資信託市場に上場いたしましたヒューリックリート投資法人への販売用不動産の売却を主因として、営業収益は123,175百万円(前年同期比88,158百万円、251.7%増)、営業利益は18,515百万円(前年同期比4,713百万円、34.1%増)、経常利益は17,265百万円(前年同期比4,664百万円、37.0%増)、四半期純利益は11,997百万円(前年同期比3,661百万円、43.9%増)となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

(各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益、振替高を含みます。)

(不動産事業)

当社グループの中核事業は、東京23区を中心に、約160件(販売用不動産除く)の賃貸物件・賃貸可能面積約69万㎡を活用した不動産賃貸業務であります。賃貸事業収益の更なる拡大の観点から、築年数の古い物件を中心に立地の特性に適した建替の着実な推進によるポートフォリオの質的改善に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ヒューリックレジデンス千葉中央(平成26年3月竣工)、ヒューリックレジデンス調布柴崎(平成26年3月竣工)が竣工いたしました。

そのほか、石神井家庭寮(平成26年7月竣工予定)、柏木寮(平成26年8月竣工予定)、ヒューリック新宿ビル(平成26年10月竣工予定)、世田谷Fビル(平成26年11月竣工予定)、新大久保家庭寮(賃貸住宅棟 平成27年4月竣工予定、有料老人ホーム棟 平成27年7月竣工予定)、浅草橋富士ビル(平成27年8月竣工予定)及び志村家庭寮(商業施設棟 平成27年9月竣工予定、有料老人ホーム棟 平成28年1月竣工予定)の建替計画も順調に進行しております。

また、当社は、立地重視の投資の強化によるポートフォリオ拡充に取り組んでおり、当第2四半期連結累計期間におきましては、ツルミフーガ1(横浜市鶴見区)、ヒューリック銀座二丁目ビル(東京都中央区)を取得したほか、開発を前提として渋谷区東4丁目土地等を取得いたしました。また、調布駅北第1A地区第一種市街地再開発事業(東京都調布市)、日本橋二丁目地区第一種市街地再開発事業(東京都中央区)についても順調に進行しております。

PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)事業である東京都下水道局主催の「芝浦水再生センター再構築に伴う上部利用事業」(品川シーズンテラス)(東京都港区)についても順調に進行しております。

販売用不動産につきましては、中野セントラルパーク サウス棟の持分等を取得し、一方、ヒューリックリート投資法人へのヒューリック神谷町ビルの一部等の売却を含め16物件を売却いたしました。また、開発事業において、新たに豊和会札幌病院計画(札幌市厚別区)に着手しており、虎ノ門開発計画(東京都港区)についても順調に進行しております。

このように、当セグメントにおける事業は順調に進行し、ヒューリックリート投資法人への販売用不動産の売却を主因として、販売用不動産の売上が大幅に増加したことに加え、竣工物件や取得物件により物件売却に伴う賃料収入の減少の影響を抑えたことなどから、当第2四半期連結累計期間の営業収益は117,208百万円(前年同期比86,831百万円、285.8%増)、営業利益は19,713百万円(前年同期比4,492百万円、29.5%増)となりました。

(保険事業)

保険事業におきましては、連結子会社であるヒューリック保険サービス株式会社が、国内・外資系の保険会社と代理店契約を結んでおり、法人から個人まで多彩な保険商品を販売しております。保険業界の事業環境は引き続き厳しい環境にありますが、既存損保代理店の営業権取得を重点業務として、法人取引を中心に拡充しております。

この結果、当セグメントにおける営業収益は1,431百万円(前年同期比135百万円、10.4%増)、営業利益は381百万円(前年同期比66百万円、21.1%増)となりました。

(その他)

その他におきましては、連結子会社であるヒューリックビルド株式会社による当社保有ビル等の営繕工事、テナント退去時の原状回復工事、新規入居時の内装工事を中心に受注実績を積み上げておりますほか、連結子会社であるヒューリックオフィスサービス株式会社による給食業務の受託事業等が寄与した結果、営業収益は5,164百万円(前年同期比972百万円、23.1%増)、営業利益は273百万円(前年同期比99百万円、56.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、693,445百万円となり、対前期末比で26,898百万円減少いたしました。当社グループにおいては、賃貸事業収益の更なる拡大の観点から、築年数の古い物件を中心に立地の特性に適した建替の着実な推進、立地重視の投資の強化によるポートフォリオ拡充等に取り組んでおります。

また、ヒューリックリート投資法人の中長期的な収益維持・向上と運用資産の着実な成長を実現するために、スポンサーとしてのサポートやバックアップに努めてまいります。

主な項目の増減は以下の通りであります。

①現金及び預金	3,519百万円減少
②販売用不動産	67,093百万円減少 (物件の取得及び売却)
③建物及び構築物	1,347百万円増加 (物件の取得、建替物件の竣工等)
④土地	19,944百万円増加 (物件の取得等)
⑤建設仮勘定	6,659百万円増加 (建替計画の進行及び建替物件の竣工等)
⑥投資有価証券	15,942百万円増加 (投資有価証券の取得、上場株式の含み益の増加等)
⑦差入保証金	4,029百万円増加 (マスターリースに係る敷金の差入等)

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、501,979百万円となり、対前期末比で41,084百万円減少いたしました。これは、主に、ヒューリックリート投資法人への物件売却に伴い、短期社債を償還したこと等によるものであります。

当社グループの借入金残高は370,045百万円となっておりますが、このうち特別目的会社(SPC)のノンリコースローンが4,200百万円含まれております。金融機関からの資金調達については、高い収益力を背景として安定的に低コストで調達をおこなっております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、191,466百万円となり、対前期末比で14,185百万円増加いたしました。このうち株主資本合計は、166,475百万円となり、対前期末比で9,767百万円増加いたしました。これは四半期純利益による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

また、その他の包括利益累計額合計は、23,670百万円となり、対前期末比で4,370百万円増加いたしました。これは主に時価のある有価証券の含み益が6,269百万円増加したことによるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により81,098百万円増加し、投資活動により40,512百万円減少し、財務活動において44,123百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には13,080百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,424	81,098
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,861	△40,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	62,620	△44,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,512	13,080

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは81,098百万円の収入(前年同期比106,523百万円)となりました。これは主に、安定した不動産賃貸収入に加え、ヒューリックリート投資法人への販売用不動産の売却を主因とした税金等調整前四半期純利益が17,520百万円、減価償却費が3,516百万円及びたな卸資産の減少額が67,216百万円あった一方、差入保証金の増加額4,029百万円及び法人税等の支払額3,361百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは40,512百万円の支出(前年同期比△4,651百万円)となりました。これは主に、賃貸事業収益の更なる拡大の観点から、建替を進めるとともに新規物件の取得をおこなったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは44,123百万円の支出(前年同期比△106,743百万円)となりました。これは主に、ヒューリックリート投資法人への物件売却に伴い、短期社債を償還したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は概ね計画通りに推移しており、平成26年12月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,600	14,080
受取手形及び営業未収入金	2,096	1,648
商品	0	0
販売用不動産	90,116	23,023
仕掛販売用不動産	8,160	8,352
未成工事支出金	55	65
貯蔵品	41	31
営業投資有価証券	1,286	593
繰延税金資産	2,552	486
その他	1,463	1,801
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	123,371	50,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	129,764	131,112
機械装置及び運搬具(純額)	887	1,080
土地	335,364	355,308
建設仮勘定	7,287	13,947
その他(純額)	674	646
有形固定資産合計	473,978	502,095
無形固定資産		
のれん	916	966
借地権	12,451	11,096
その他	396	381
無形固定資産合計	13,764	12,445
投資その他の資産		
投資有価証券	101,601	117,544
差入保証金	3,324	7,354
繰延税金資産	539	516
その他	3,722	3,372
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	109,188	128,787
固定資産合計	596,931	643,328
繰延資産		
繰延資産合計	41	35
資産合計	720,344	693,445

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	77,183	85,226
短期社債	57,994	—
1年内償還予定の社債	—	12,000
未払費用	1,600	1,693
未払法人税等	3,018	4,207
前受金	3,773	3,619
賞与引当金	68	32
役員賞与引当金	103	49
その他	5,521	4,485
流動負債合計	149,264	111,314
固定負債		
社債	32,100	38,100
長期借入金	294,657	284,818
繰延税金負債	21,814	22,945
退職給付引当金	456	506
役員退職慰労引当金	9	9
長期預り保証金	42,862	42,172
その他	1,897	2,112
固定負債合計	393,798	390,665
負債合計	543,063	501,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,205	22,279
資本剰余金	38,270	38,344
利益剰余金	96,422	106,042
自己株式	△189	△190
株主資本合計	156,708	166,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,736	22,739
繰延ヘッジ損益	△289	△236
為替換算調整勘定	853	1,167
その他の包括利益累計額合計	19,299	23,670
少数株主持分	1,273	1,320
純資産合計	177,280	191,466
負債純資産合計	720,344	693,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業収益	35,016	123,175
営業原価	16,442	99,763
営業総利益	18,574	23,412
販売費及び一般管理費	4,771	4,896
営業利益	13,802	18,515
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	1,058	743
持分法による投資利益	—	57
賃貸解約関係収入	339	160
その他	75	84
営業外収益合計	1,477	1,048
営業外費用		
支払利息	2,527	2,170
持分法による投資損失	6	—
その他	145	128
営業外費用合計	2,679	2,298
経常利益	12,600	17,265
特別利益		
固定資産売却益	1,757	28
投資有価証券売却益	108	0
受取補償金	144	937
その他	159	9
特別利益合計	2,168	975
特別損失		
固定資産売却損	—	32
固定資産除却損	1,426	402
建替関連損失	383	100
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	69
その他	3	116
特別損失合計	1,813	721
税金等調整前四半期純利益	12,956	17,520
法人税、住民税及び事業税	684	4,531
法人税等調整額	3,891	943
法人税等合計	4,575	5,475
少数株主損益調整前四半期純利益	8,380	12,044
少数株主利益	43	47
四半期純利益	8,336	11,997

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,380	12,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,451	4,024
繰延ヘッジ損益	159	53
為替換算調整勘定	396	313
持分法適用会社に対する持分相当額	165	△20
その他の包括利益合計	8,174	4,370
四半期包括利益	16,554	16,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,510	16,368
少数株主に係る四半期包括利益	43	47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,956	17,520
減価償却費	3,338	3,516
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26	△36
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43	△54
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	28	50
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4	—
受取利息及び受取配当金	△1,062	△745
支払利息	2,527	2,170
持分法による投資損益 (△は益)	6	△57
固定資産除却損	1,426	402
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,370	20
無形固定資産売却損益 (△は益)	△386	△15
投資有価証券売却損益 (△は益)	△107	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	69
受取補償金	△144	△937
売上債権の増減額 (△は増加)	△115	448
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△38,109	67,216
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△4,517	693
差入保証金の増減額 (△は増加)	△17	△4,029
預り保証金の増減額 (△は減少)	3,316	△689
その他の資産の増減額 (△は増加)	531	658
その他の負債の増減額 (△は減少)	797	△1,196
小計	△20,977	84,999
利息及び配当金の受取額	2,544	799
利息の支払額	△2,734	△2,277
補償金の受取額	144	937
法人税等の支払額	△4,401	△3,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,424	81,098
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000
定期預金の払戻による収入	—	1,000
有形固定資産の取得による支出	△42,087	△31,485
有形固定資産の売却による収入	2,999	708
無形固定資産の取得による支出	△81	△321
無形固定資産の売却による収入	906	119
投資有価証券の取得による支出	△949	△9,886
投資有価証券の売却による収入	2,702	3
貸付金の回収による収入	0	0
その他	647	349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,861	△40,512

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	22,500	△6,300
短期社債の純増減額 (△は減少)	36,988	△58,000
長期借入れによる収入	20,000	39,000
長期借入金の返済による支出	△35,572	△34,495
社債の発行による収入	19,901	17,903
ストックオプションの行使による収入	286	149
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△1,482	△2,377
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	62,620	△44,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,348	△3,519
現金及び現金同等物の期首残高	12,164	16,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,512	13,080

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	保険事業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	30,207	1,295	31,503	3,512	35,016	—	35,016
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	169	—	169	679	848	△848	—
計	30,376	1,295	31,672	4,192	35,865	△848	35,016
セグメント利益	15,221	314	15,535	174	15,710	△1,907	13,802

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事請負、設計・工事監理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,907百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,918百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	保険事業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	117,019	1,431	118,450	4,724	123,175	—	123,175
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	189	—	189	439	629	△629	—
計	117,208	1,431	118,639	5,164	123,804	△629	123,175
セグメント利益	19,713	381	20,095	273	20,368	△1,852	18,515

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事請負、設計・工事監理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,852百万円には、セグメント間取引消去69百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,922百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。